

【科目情報】

授業コード	1FCB302010	科目ナンバリング	FCALAW71027-J1
授業科目名	刑法第1部B（総論・犯罪論の展開）		
担当教員氏名	金澤 真理		
開講年度・学期	2022年度後期	曜日・時限	火曜5限
授業形態	講義		
単位数	2単位		

【シラバス情報】

授業概要	刑法典第1編総則のうち、処罰拡張事由たる未遂、共犯について、刑法第1部Aを受講した者を対象に、応用的発展的内容を含めて講述する。
到達目標	刑法学において用いられる概念、内容につき正確な知識を習得すると共に、体系的な論理的思考力を身につける。

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第1回	未遂、予備の概念	事前学習：授業計画に合わせて、体系書の該当部分を読み、概要を理解する。 事後学習：講義で扱った内容を整理し、理解困難な部分を補充する。
第2回	不能犯	同上
第3回	中止犯・中止未遂	同上
第4回	犯罪への関与形態、正犯と共犯の区別	同上
第5回	共犯の処罰根拠	同上
第6回	共同正犯、間接正犯	同上
第7回	教唆犯	同上
第8回	幫助犯	同上
第9回	共犯論の諸問題 ・過失犯と共犯 ・身分犯と共犯 ・共犯と錯誤 ・共犯関係からの離脱 ・不作為と共犯	同上
第10回	同上	同上
第11回	同上	同上

第12回	同上	同上
第13回	同上	同上
第14回	同上	同上
第15回	罪数論	同上
第16回	期末試験	同上

成績評価方法	到達目標の達成度を測るため、以下により絶対評価の方法を用いる。試験成績（中間試験を含む。内訳：中間試験20%、期末試験80%）80%、平常点（講義における質疑応答、確認課題への取り組み）20%。基本的概念を正確に理解し、それを用いて論理的な説明ができることが最低基準である。
履修上の注意	予復習を欠かさぬようにしてください。
教科書	山口厚『刑法総論（第3版）』（有斐閣）
参考文献	別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅰ（第8版）』（有斐閣）
その他	